

報道関係 各位

※お手数ですが、ご担当の方にお渡しください。

2013年7月31日

大学創立者出身地の天童市で政策提言 明治大学生が“てんどう活性化プロジェクト”に挑戦 — 一計6日間の現地調査・取材を経て、成果報告 —

明治大学（東京都千代田区）は地域連携プログラムの一環として、8月初旬と下旬の計6日間、山形県天童市に学生11名を派遣します。学生たちは、「てんどう活性化プロジェクト～観光誘客・交流人口の拡大について～」をテーマに、①将棋駒、②いで湯、③フルーツの里をキーワードとして、現地調査および現地でのフィールドワークを実施。さらに、地域住民・行政・関係団体の方々と熟議形式*で課題を絞り込み、現地調査・取材を経て、成果報告（政策提言）します。

天童市は明治大学創立者の一人である宮城浩蔵の出身地で、2010年12月に「天童市と明治大学との連携協力に関する協定」を締結しています。天童市で行う市民向けの公開講座や、駿河台キャンパス（東京・御茶ノ水）で今年6月に実施した「ふるさと天童、食のフェア」など様々な取り組みを行っております。



宮城浩蔵（天童藩出身）

■天童市での活動日程

◇事前調査

8月5日（月） 天童市内視察、関係者への取材、グループワーク

8月6日（火） 熟議（課題や問題点の洗い出し）

◇現地調査

8月26日（月） オリエンテーション、グループワーク

8月27日（火） 現地調査・取材

8月28日（水） 現地調査・取材

8月29日（木） 13時～15時 中間成果発表

（天童市立中央公民館3階にて）



地域住民へ取材をする明大生（昨年度の様子）

* 熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。明治大学では2012年3月、文部科学省との共催による「地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議『熟議2012 in 明治大学』」を開催した。

◇本件お問い合わせ

明治大学 経営企画部広報課

担当：澤内

電話：03-3296-4082